

一般廃棄物・産業廃棄物処理施設維持管理記録簿 [管理型] (平成 29年 2月度)

対象期間:平成 29年 2月 1日 ~ 平成 29年 2月 28日

埋立廃棄物の種類及び数量[一般:規第4条の5の2 4号イ、産廃:規第12条の7の2 8号イ]

種類	数量(単位)
一般廃棄物	
焼却灰	1,584.09 (t/月)
ごみ	603.11 (t/月)
特定一般廃棄物(焼却灰)	36.94 (t/月)
特定一般廃棄物(ばいじん)	1,841.93 (t/月)
一般廃棄物 小計	4,066.07 (t/月)
産業廃棄物	
燃え殻	609.430 (t/月)
汚泥	116.600 (t/月)
廃プラスチック	605.770 (t/月)
廃プラスチック(非飛散性)	(t/月)
紙くず	(t/月)
木くず	0.860 (t/月)
繊維くず	(t/月)
動植物性残さ	(t/月)
金属くず	6.590 (t/月)
ガラス陶磁器くず	1,478.930 (t/月)
ガラス陶磁器くず(非飛散性)	0.610 (t/月)
鉱さい	46.210 (t/月)
がれき類	438.690 (t/月)
がれき類(非飛散性)	(t/月)
動物の死体	(t/月)
ばいじん	58.020 (t/月)
処分するために処理したもの(13号廃棄物)	(t/月)
廃石綿等(特別管理廃棄物)	(t/月)
特定産業廃棄物(燃え殻)	(t/月)
特定産業廃棄物(ばいじん)	2.50 (t/月)
産業廃棄物 小計	3,364.21 (t/月)
合計	7,430.28 (t/月)

水質検査の実施状況と措置(月1回測定)[一般:規第4条の5の2 4号ニ及びホ、産廃:規第12条の7の2 8号ニ及びホ]

	地下水等	放流水
採取場所	下部調整池脇自噴井戸	シート下ドレーン水
採取日	平成 29年 2月 8日	平成 29年 2月 8日
分析結果が得られた日	平成 29年 3月 3日	平成 29年 3月 3日
電気伝導率	82.9 ms/m	127.8 ms/m
塩化物イオン濃度	48.0 ppm	53.0 ppm
水素イオン濃度		7.46 pH
生物化学的酸素要求量		0.9 ppm
化学的酸素要求量		3.9 ppm
浮遊物質		1未満 ppm
窒素含有量		1未満 ppm
異常の有無	有・ <del>無</del>	有・ <del>無</del>
必要な措置を講じた日付けとその内容(異常が認められた場合記入すること)		

残余の埋立容量(年1回測定)[一般:規第4条の5の2 4号リ、産廃:規第12条の7の2 8号リ]

計測日	残余容量(m³)
平成 年 月 日	

施設の点検[一般:規第4条の5の2 4号ロ、ハ、ヘ及びト、産廃:規第12条の7の2 8号ロ、ハ、ヘ及びト]

	擁壁等	遮水工	調整池	浸出水処理設備
点検日	平成 29年 2月 27日	平成 29年 2月 27日	平成 29年 2月 27日	平成 29年 2月 27日
異常の有無	有・ <del>無</del>	有・ <del>無</del>	有・ <del>無</del>	有・ <del>無</del>
必要な措置を講じた年月日とその内容(異常が認められた場合のみ記入すること)	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日

※ 保有水等の導水管、浸出液処理設備の配管の防凍の為の対策について、当施設は標高1000mに位置している。その為、冬季の気温低下を考慮し埋設配管にて設置してい[一般:規第4条の5の2 4号チ、産廃:規第12条の7の2 8号チ]

水質検査の実施状況と措置(年1回測定)[一般:規第4条の5の2 4号ニ及びホ、産廃:規第12条の7の2 8号ニ及びホ]

	地下水等	放流水
採取日	平成 29年 2月 8日	平成 29年 2月 8日
採取場所	下部調整池脇自噴井戸	シート下ドレーン水
分析結果が得られた日	平成 29年 3月 3日	平成 29年 3月 3日
分析結果	計量証明の添付	計量証明の添付
異常の有無	有・ <del>無</del>	有・ <del>無</del>
必要な処置を講じた年月日とその内容(異常が認められた場合記入すること)		